

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 実用新案公報 (Y2)

(11)実用新案出願公告番号

実公平7-25997

(24) (44)公告日 平成7年(1995)6月14日

(51)Int.Cl. <sup>9</sup>	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 3 H 13/16				
A 6 3 F 9/00	5 0 2 C			
A 6 3 H 5/00		D		
		C		
29/04		B		

請求項の数2(全8頁) 最終頁に続く

(21)出願番号	実願平2-48004
(22)出願日	平成2年(1990)5月8日
(65)公開番号	実開平4-5892
(43)公開日	平成4年(1992)1月20日

(71)出願人	99999999 株式会社トミー 東京都葛飾区立石7丁目9番10号
(72)考案者	柏本 潔 東京都葛飾区立石7丁目9番10号 株式会社トミー内
(72)考案者	水沼 正憲 東京都葛飾区立石7丁目9番10号 株式会社トミー内
(74)代理人	弁理士 荒船 博司 (外1名)
審査官	宮崎 恵
(56)参考文献	実開 昭56-23194 (JP, U) 実公 昭61-9677 (JP, Y2)

(54)【考案の名称】 ピックリ箱

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】外壁部に複数の差込み孔が設けられたケースと、  
該ケースの定位置に置かれる飛出し部材と、  
該飛出し部材に飛出す方向への弾発力を付与する飛出し力付与手段と、  
該飛出し力付与手段の弾発力を抗して前記飛出し部材を前記ケースの定位置に位置させた状態で係止し得る係止手段と、  
前記ケースの差込み孔に差込まれる差込み物とを具え、  
前記複数の差込み孔のうちの特定の差込み孔に前記差込み物が差込まれることにより前記係止手段の係止が解除されて、前記飛出し部材が飛出すピックリ箱において、  
前記ケース内には押圧式の発音スイッチを有する音出装置と、

2

該音出装置の前記発音スイッチを前記差込み物の差込みに伴って一時的にオンさせる音出装置作動手段とを具え、  
前記音出装置作動手段は、復帰スプリングによって所定の方向に付勢される環状回転体を含んで構成され、  
該環状回転体には、前記差込み物が任意の前記差込み孔に差込まれた時に当該差込み物からの接触圧を受けて、  
該環状回転体を前記復帰スプリングの付勢力に抗する方向に回転させ、該環状回転体の回転によって直接的あるいは間接的に前記発音スイッチをオンさせ得る先端楔状の接触作動片が設けられ、  
一方、前記差込み物には、当該差込み物を完全に差込んだ際に前記接触作動片の先端部に嵌合する開口部が設けられている、  
ことを特徴とするピックリ箱。

【請求項2】前記音出装置制御手段は、  
前記環状回転体と、  
該環状回転体の前記復帰スプリングの付勢力に抗する方  
向への回転によって作動され、前記発音スイッチをオン  
させるスイッチ切替えレバーと、  
から構成されている、  
ことを特徴とする請求項1記載のピックリ箱。

## 【考案の詳細な説明】

## 【産業上の利用分野】

この考案はケースの外壁部に複数の差込み孔が設けられ  
ていて、そのうち特定の差込み孔に差込み物が差込まれ  
たときに、ケース内部から飛出し部材が飛出すピックリ  
箱に関する。

## 【従来の技術】

従来、外壁部に複数の差込み孔が設けられたケースと、  
該ケースの定位置に置かれる飛出し部材と、該飛出し部  
材に飛出す方向への弾发力を付与する飛出し力付与手段  
と、該飛出し力付与手段の弾发力に抗して前記飛出し部  
材を前記ケースの定位置に位置させた状態で係止し得る  
係止手段と、前記ケースの差込み孔に差込まれる差込み  
物とを具え、前記複数の差込み孔のうちの特定の差込み  
孔に前記差込み物が差込まれることにより前記係止手段  
の係止が解除されて、前記飛出し部材が飛出すピックリ  
箱があった。

## 【考案が解決しようとする課題】

ところが上記従来のピックリ箱は、差込み孔に差込み物  
が差し込まれても、それが特定の差込み孔でなかった場  
合にはそのピックリ箱は何の反応も示さなかつたので、  
それを使用する遊技者には緊迫感がそれほど感ぜられな  
いという問題点があった。

この考案は上記問題点を解決するためになされたもの  
で、差込み孔に差込み物が差込まれる度に反応を示すこ  
とによって緊迫感のあるピックリ箱を提供することを目的  
とする。

## 【課題を解決するための手段】

この考案に係るピックリ箱は、外壁部に複数の差込み孔  
が設けられたケースと、該ケースの定位置に置かれる飛  
出し部材と、該飛出し部材に飛出す方向への弾发力を付  
与する飛出し力付与手段と、該飛出し力付与手段の弾发力  
に抗して前記飛出し部材を前記ケースの定位置に位置  
させた状態で係止し得る係止手段と、前記ケースの差込み  
孔に差込まれる差込み物とを具え、前記複数の差込み  
孔のうちの特定の差込み孔に前記差込み物が差込まれる  
ことにより前記係止手段の係止が解除されて、前記飛出し  
部材が飛出すピックリ箱において、前記ケース内には  
押圧式の発音スイッチを有する音出装置と、該音出装置  
の前記発音スイッチを前記差込み物の差込みに伴って一  
時的にオンさせる音出装置作動手段とを具え、前記音出  
装置作動手段は、復帰スプリングによって所定の方向に  
付勢される環状回転体を含んで構成され、該環状回転体

には、前記差込み物が任意の前記差込み孔に差込まれた  
時に当該差込み物からの接触圧を受けて、該環状回転体  
を前記復帰スプリングの付勢力に抗する方向に回転さ  
せ、該環状回転体の回転によって直接的あるいは間接的  
に前記発音スイッチをオンさせ得る先端楔状の接触作動  
片が設けられ、一方、前記差込み物には、当該差込み物  
を完全に差込んだ際に前記接触作動片の先端部に嵌合す  
る開口部が設けられている、ことを特徴とするものであ  
る。

10 また、前記音出装置制御手段を、前記環状回転体と、該  
環状回転体の前記復帰スプリングの付勢力に抗する方向  
への回転によって作動され、前記発音スイッチをオンさ  
せるスイッチ切替えレバーと、から構成したものであ  
る。

## 【作用】

ケースの外壁部に設けられた差込み孔に差込み物が差込  
まれるごとに音出装置が作動して音を発生する。

## 【実施例】

以下、本考案の実施例を図面を参照しつつ説明する。

20 第1図は、本考案に係るピックリ箱の全体斜視図である。

このピックリ箱1は、同図に示すように、外壁部23に差  
込み孔24を複数有する樽の如き外観をしたケース2、前  
記差込み孔24に差込まれる差込み物4及び飛出し部材7  
を備え、内部には、前記飛出し部材7を飛出させる飛出  
し力付与手段としての飛出し力付与装置3（第2図  
(a)乃至第6図）、前記差込み物4の差込み時に音を  
発生する音出装置6及びこの音出装置6をオン、オフさ  
せる音出装置作動手段5（第2図等）を具えている。

30 このピックリ箱1は概略このように構成されており、任  
意の前記差込み孔24に前記差込み物4が差込まれるごと  
に前記音出装置作動手段5が前記音出装置6を作動させ  
て音を発生させる。

そして運悪く、前記差込み孔24のうちの特定の差込み孔  
24に前記差込み物4が差し込まれた場合には前記音出装  
置6が作動して音を発生するとともに、前記飛出し力付  
与装置3により飛出し方向へ力が付与されて前記飛出し  
部材7が飛出するように動作する。

次ぎに第2図以下の図面に基づき本考案に係るピックリ  
箱の具体的な構成について説明する。

第2図(a)はピックリ箱1の分解斜視図、第2図

(b)は差込み物4の斜視図、第3図はピックリ箱1の  
縦断側面図、第4図は飛出し力付与装置3及び飛出し部  
材7の斜視図、第5図は飛出し力付与装置3の縦断側面  
図、第6図は飛出し力付与装置3の係止手段としての係  
止レバー35及び音出装置作動手段5の動作を示すピック  
リ箱1の平面図である。

このピックリ箱1は複数の差込み孔24が設けられたケ  
ース2と、該ケース2の上部に載置される飛出し部材7

50 と、前記差込み孔24に差し込まれる差込み物4と、前記

差込み孔24のうちの特定の差込み孔に差し込んだときに前記差込み物24により作動されて飛出し力を付与する飛出し力付与装置3と、前記差込み孔24中に前記差込み物4が差し込まれるごとに作動される音出装置作動手段5と、この音出装置作動手段5の作動によって回動されるスイッチ切替え手段としてのスイッチ切替えレバー51と、このスイッチ切替えレバー51の回動動作に伴ってオンされて音を発生する音出装置6とを備えている。

前記ケース2は例えば上下分割形の上部ケース21と下部ケース22とからなり、樽形の外観をした中空状のケースとして造られ、その外壁部23には前記差込み物4が差込まれる前記差込み孔24が複数設けられている。また、前記上部ケース21の天壁25には飛出し部材7を臨ませる開口部26が設けられ、その隣には音出装置6により発生された音を放出させる音出孔27が設けられている。

前記飛出し部材7は前記差込み物4が前記ケース2の特定の差込み孔24の孔に差し込まれたことを認識せるもので、人形の外観に造られている。

前記飛出し力付与装置3は前記飛出し部材7に飛出し力を付与するもので、第4図及び第5図に示すように、筒体31と該筒体31内に摺動自在に収納された飛出し力付与部材33とを具えている。そしてその筒体31内にはその飛出し力付与部材33に上昇力を付与する付勢手段としてのスプリング34が収容されている。一方、この筒体31の外周部には前記スプリング34の付勢力に抗して前記飛出し力付与部材33を下降した状態に係止し得る係止手段としての係止レバー35が取付けられている。

前記筒体31はその上端部が前記上部ケース21の中央部に設けられた軸受部21aに支持されるとともに下部ケース2の中央部に設けられた軸受部22aに支持された状態でケース内の中心位置に略垂直に回転自在に設置されている。

この筒体31の上端部の載置部36内の底部には前記飛び出し部材7の下端部に設けられた歯7bと噛み合う歯36bとが設けられており、その両者を噛み合わせた状態でその飛び出し部材7を回転させることによって筒体31をクリック回転させて、差込み物接触部35bが差込み孔24に対応する位置で停止するようになっている。

前記飛出し力付与部材33は前記差込み物4が前記ケース2の差込み孔24のうちの特定の差込み孔に差し込まれたときに、その差込み物4により係止が解かれて上昇しそれによって前記飛出し部材7に飛出し力を付与するもので、前記筒体31内に昇降自在に収納されている。

前記係止レバー35は前記飛出し力付与部材33を前記スプリング34の付勢力に抗して下降させた状態で係止する一方、前記ケース2の特定の差込み孔24に前記差込み物4が差し込まれたときに回転させられてその係止を解くもので、その先端部には前記筒体31に設けられた開口部31b(第5図)を介してその中に入り込んで前記飛出し力付与部材33下端のフランジ部33aと係合し得る係止爪35a

が設けられ、基端部には前記ケース2の特定の差込み孔24に差し込まれた前記差込み物4の先端部が接触し得る差込み物接触部35bが設けられている。そして、その中間部分が前記筒体31の外側部にピン35cを軸心として回動自在に取付けられ、復帰用バネ35dによってその先端の係止爪35aが前記筒体31に設けられた前記開口部31bを介してその内部へ入り込む方向への回動復帰を与えられている。

前記飛出し力付与装置3はこのように構成されており、第5図に示す如く飛出し力付与部材33が下降してその下端のフランジ部33aに係止レバー35の係止爪35aが係合した状態において、ケース2の差込み孔24に差込み物4が差込まれてその先端がその差込み物接触部35bに当ると、係止レバー35が回動されて飛び出し力付与部材33の係止を解くこととなる。

前記音出装置作動手段5は前記ケース2の任意の差込み孔24に差し込まれた差込み物4によってスイッチ切替え手段としてのスイッチ切替えレバー51を介して前記音出装置6をオンさせることにより音を発生させるものである。

この音出装置作動手段5は環状回転体50と、スイッチ切替えレバー51とから構成されている。環状回転体50は前記下部ケース32内の上部に設けられた回動案内部22b上に回動自在に設置されていてその上下には前記ケース2の差込み孔24に対応する位置に接触作動片57が一体的に設けられている。

それら接触作動片57は前記ケース2の任意の差込み孔24に差し込まれた前記差込み物4の接触圧を受けて前記環状回転体50を回転させるためのもので、それぞれの先端には楔状のカム57aが設けられている。

この環状回転体50は常時は復帰用スプリング59によって前記接触作動片57のカム57aが、前記ケース2の差込み孔24の内側に位置するように回動復帰されていて、これらカム57aに前記ケース2の差込み孔24から差し込まれた前記差込み物4が接触することによって、その上側から見て時計方向に所定角度、前記環状回転体50を回転させるようになっている。

また、この環状回転体50の一側部には後述のスイッチ切替えレバー51の接触片56と接触しうる接触片58が一体的に設けられている。

この接触片58が前記環状回転体50の時計方向への回転に伴って後述するように前記スイッチ切替えレバー51を回動させて後述の音出装置6を作動させるようになっている。

前記スイッチ切替えレバー51は前記環状回転体50の接触片58と接触する接触片56と、後述する音出装置6のスイッチ6aを押圧操作するスイッチ接触片53とを具え、ピン54を介して上部ケース21内の上部に回動自在に支持されている。そしてその接触片56の下端が前記環状回転体50の接触片58に接触可能に臨まされ、前記スイッチ接触片

53の先端部が音出装置6のスイッチ6aに接触しうる位置に臨まされている。

前記音出装置6は前記差込み物4が前記ケース2の差込み孔24から差し込まれるごとに作動して音を発するもので、前記上部ケース21内に設置されている。この音出装置6は押圧式のスイッチ6aを具えており、このスイッチ6aに前記ケース2の差込み孔24に差込まれる差込み物4の先端の押圧力が環状回転体50及びスイッチ切替えレバー-51を介して伝達されて押圧操作されるようになってい

る。

この音出装置6は前記下部ケース22の底部の電池ボックス25内に交換可能に収納された蓄電池26から電気の供給を受けて、音を発するようになっている。この音出装置6は公知のものであり、詳細な説明は省略するが、例えばレコード針とレコードとを具えていてそのレコードが回転して音を出すものであってもよく、また電子音を発生させるものであってもよい。

前記差込み物4は前記ケース2の差込み孔24からの差込み操作によって前記音出装置5を作動させたり前記飛出し力付与装置3を作動させたりするもので、その後端部にはこの差込み物4を手で持つ把持部41が設けられ、その先端部には前記ケース2の差込み孔24に差し込まれる差込み部42とを具えている。

この差込み物4は差込み孔24に差し込まれるときにその差込み部42の先端部が前記環状回転体50の接触作動片57のカム57aに接触してその音出装置作動手段5を作動させるようになっている。

そしてその差込み部42の基部にはその差込み部42が完全に差し込まれた状態で前記カム57を逃しれる開口部43が設けられている。

この開口部43がカム57aと出会った時点で前記音出装置6のスイッチ6aの押圧が解除されて音の発生が停止されるようになっている。

この実施例に係るピックリ第1は上記のように構成されていて、次ぎのようにして遊ばれる。

差込み孔24から差込み物4を引き抜き、飛出し力付与部材8bを下降させ、飛出し部材32を飛出し力付与装置3の載置部にはめこむ。

つぎに複数人の遊戯者が任意の順に前記差込み物4を一本ずつ差し込むようにすると差し込まれる毎に前記環状回転体50およびスイッチ切替えレバー-51を介して前記音出装置6がオンされて、音を一時的に発生させる。

そして偶発的に特定の差込み孔24に差込み物4が差し込まれたときにはその差込み物4が係止手段35の接触部35dに当接し、その係止を解除することにより飛出し部材32を上昇に飛びだせることができる。

このように差込み孔24に差込み物4が差し込まれるごと

に前記音出装置6が作動され音が発生するので遊技者はその音により飛出し部材32が何時飛出するか、緊迫感を楽しみながらゲームすることができる。

また、音出装置作動手段5は環状回転体50を含んで構成され、この環状回転体50の回転によって、音出装置6の発音スイッチを動作させるようしているため、差込み孔24毎に発音スイッチを設ける必要がなく、また、発音スイッチを含む音出装置6をユニット化することができ、その組立および修理などが容易となる。さらに、発

10 音スイッチを多数設けた場合とは異なり、多数のコードがいらないので、差込み物4の差込みの際に邪魔になることもない。

尚、飛出し部材32は常にピックリ箱の上方に突出しているものとして説明したが、當時はピックリ箱のケース内に完全に収納されているようなものであってもよい。

またケースの外観形状は樽に限らず、どのような外観形状であってもよい。また差込み物も剣のようなものに限られずどのようなものであってもよい。さらに音出装置としては差込み物の差込みに応じて機械的に動作する構

20 成部材を介在させて、オン・オフさせる構成としたが、差込み物の差込みを機械又は電子的に検出して一定時間に限り作動して音を発生させるようなものであってもよい。また音出装置をケース内に収容した例を説明したが外部に一体的に設けても良い。差込み物が特定の差込み孔に差込まれたときに飛出し部材が飛出しひっくりさせる例を示したが、飛出し部材が飛出さずに大きな音を発生させてびっくりさせるようなものであってもよい。また飛出し力付与部材を蛇腹状のバネにしてその先端に飛出し部材を固定した形式のものにしてもよい。

30 [考案の効果]

この考案によれば、上記のように、外壁部の差込み孔に差込み物が差し込まれる度に音出装置が作動して音を発生させることにより、飛出し部材が何時飛出すのか、緊迫感を楽しみながらゲームを行えるものとなる。

#### 【図面の簡単な説明】

第1図は、本考案に係るピックリ箱の全体斜視図、

第2図(a)はピックリ箱1の分解斜視図、

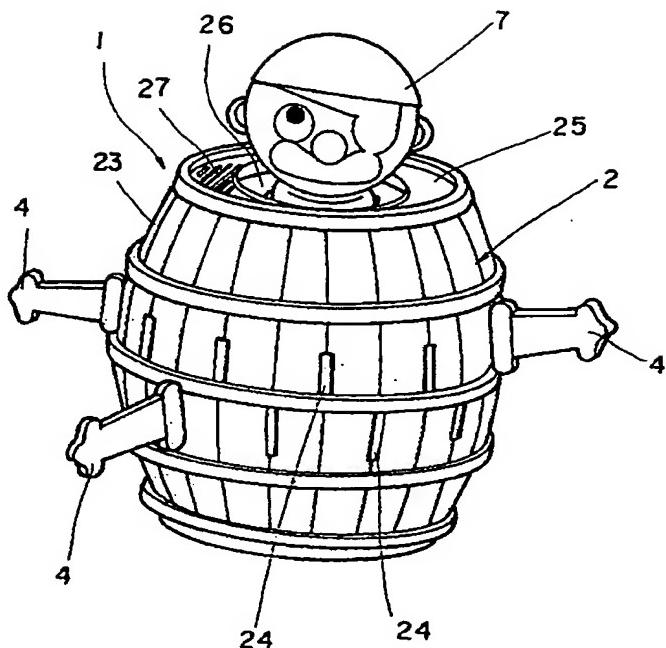
第2図(b)は差込み物の斜視図、

第3図はピックリ箱の縦断側面図、

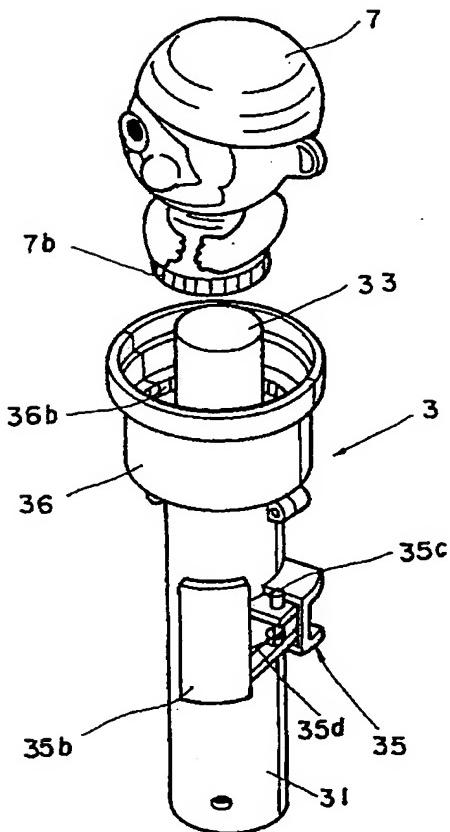
40 第4図は飛出し力付与装置3の斜視図、  
第5図は飛出し力付与装置3の縦断側面図、  
第6図は飛出し力付与装置の係止レバー及び音出装置作動手段5の動作を示す平断面図である。

1…ピックリ箱、2…ケース、3…飛出し力付与装置、  
4…差込み物、5…音出装置作動手段、6…音出装置、  
24…差込み孔、25…天壁、26…開口部、32…飛出し部材、35…係止手段。

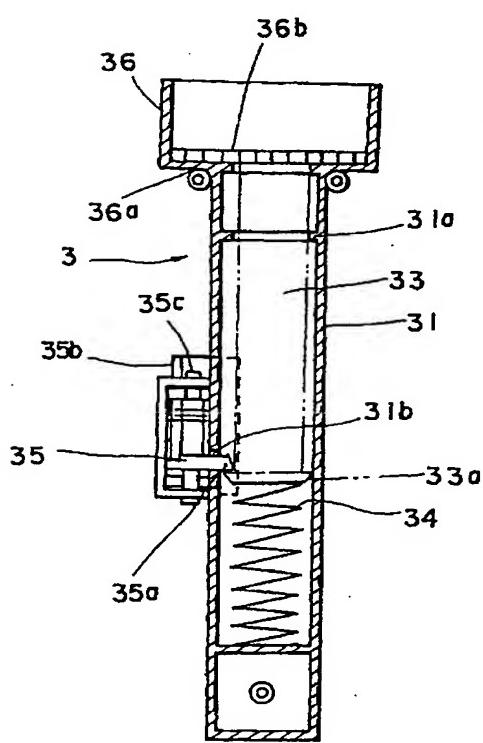
【第1図】



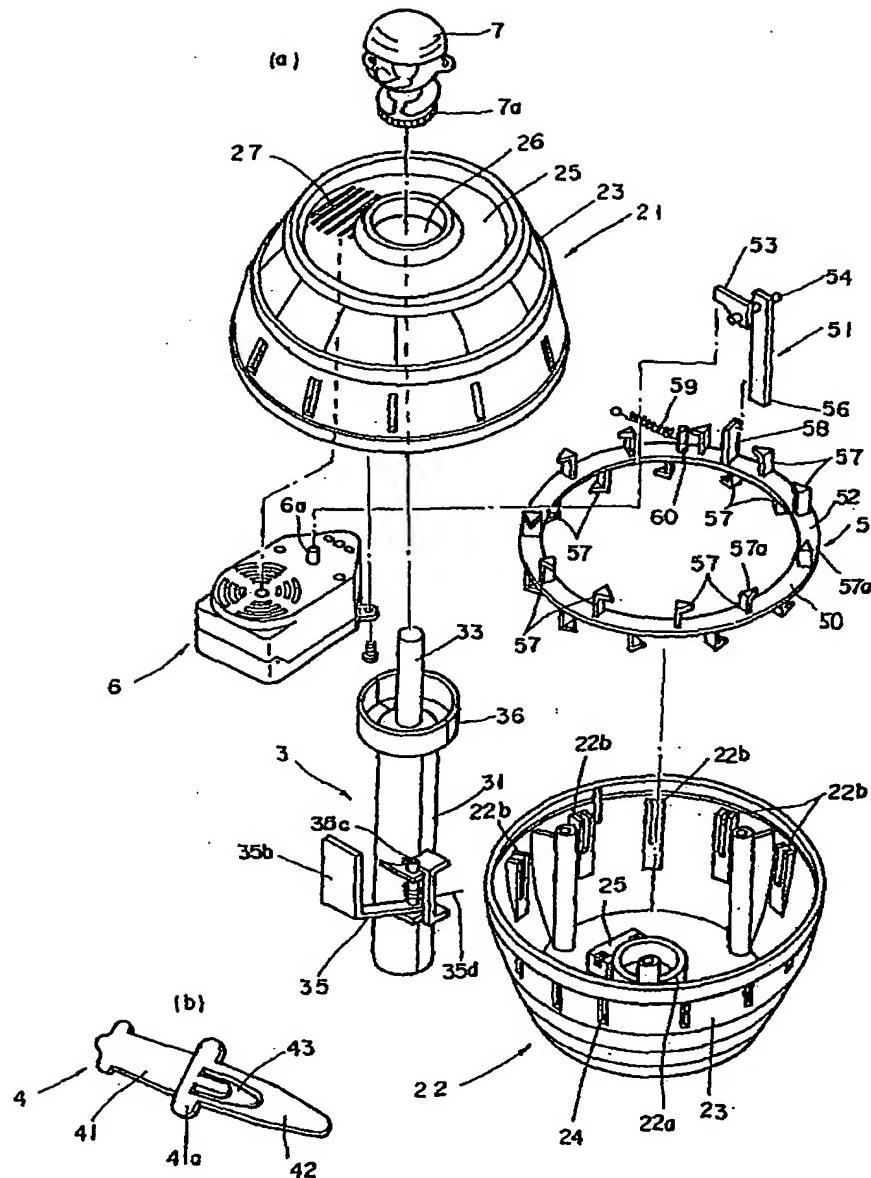
【第4図】



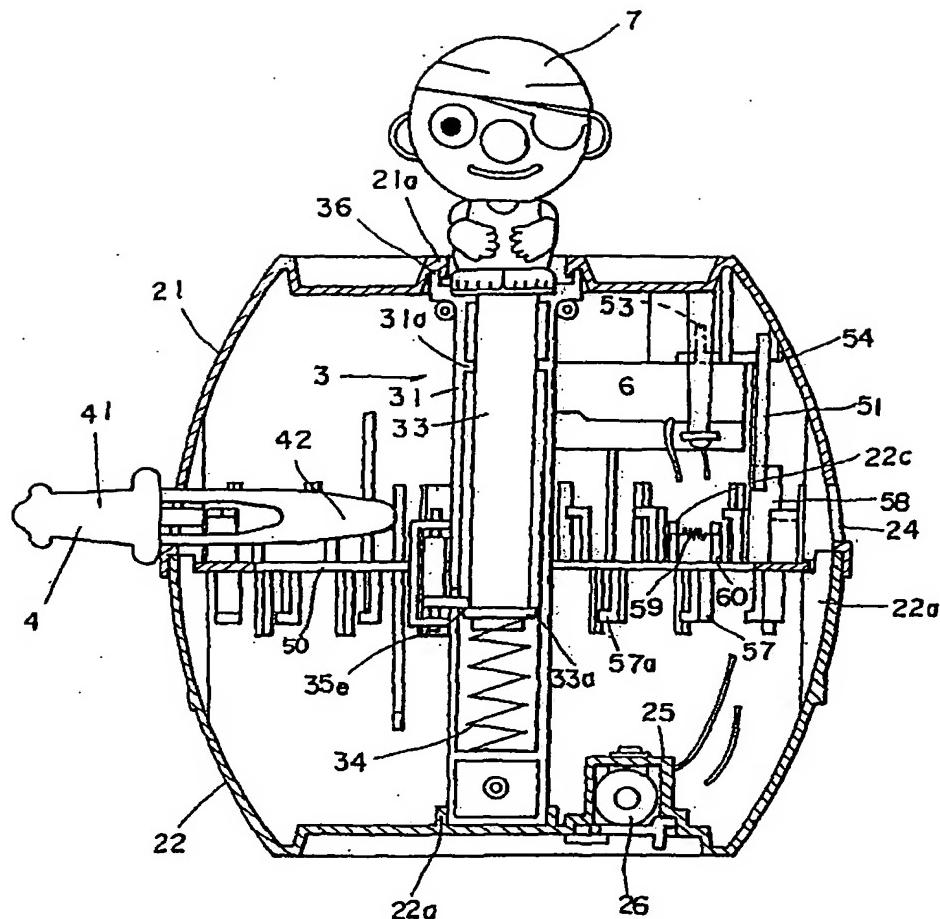
【第5図】



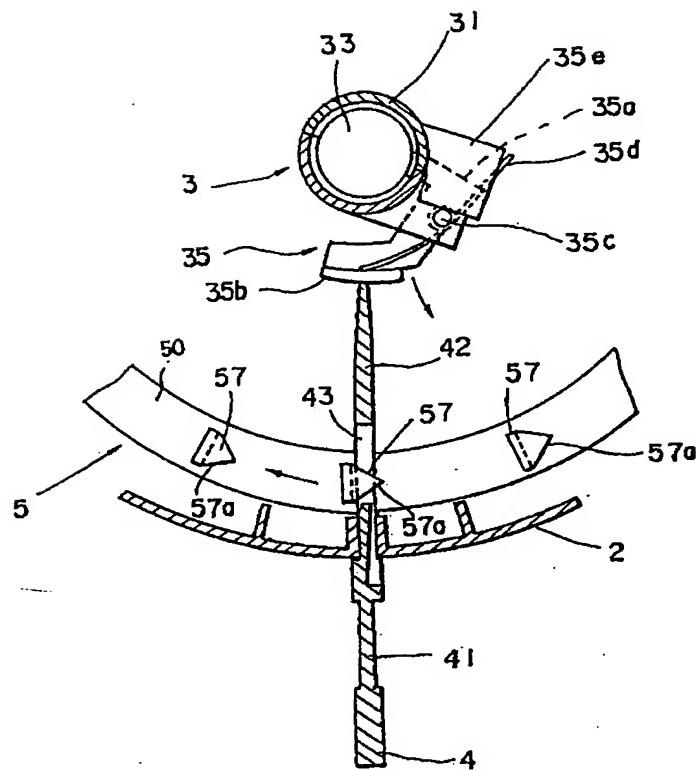
【第2図】



【第3図】



【第6図】



---

フロントページの続き

(51) Int. Cl. 6

A 63 H 29/22

識別記号 庁内整理番号

B

F I

技術表示箇所